

FROM  
TURKEY



特殊スーツを着用し、CBRNセンサーを携行した艦橋チーム。不審船舶の舷側へと取り付き、乗り込む



MARSEC COEは、アクサズのトルコ海軍基地に併設されている。建物は1階がトルコ海軍南部司令部本部になっており、2階がMARSEC COEとなっている



センターではリアリティのある訓練が行われている。トルコ海軍の油槽船アカールが、ハイジャックされた民間船の役を演じる

## 海洋安全保障

# トルコ海軍MARSEC COE

2012年2月、トルコ海軍は最高海洋安全保障センター(MARSEC COE)プロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトは、昨今の海上における非対称の脅威の高まり、安全や安心確保のための軍、警察、民間協力の必要性から、企画されたものである。センターはトルコ南西部ロードス島の対岸にあるアクサズの、トルコ海軍南部地域司令部に併設されている。

MARSEC COEの目的は、軍民両方の海事問題関係者が、法執行活動、海事安全、海洋法制、海上貿易、エネルギー安保、科学・技術的發展等のトピックについて、多国籍、学際的、統合的なベースで、対話を重ね経験を共有できるようにすることである。またMARSEC COEは、アカデミックな海事安保の、多国籍のシンクタンクでもある。

そうした目的で、MARSEC COEには、海賊、武装強盗、対テロ、大規模破壊兵器の拡散、組織犯罪、化学・生物・放射性・核(CBRN)事故等、多彩な分野に関する、訓練コース、施設が用意されている。MARSEC COEでは、すでに2013年終わりまでに、28ものイベントが行われており、その中にはブリュッセルNATO本部とのワークショップなども含まれている。